

# 東京亀城会々報

第22号  
発行  
平成14年6月25日



最上の流れにうるほふ里の  
学び舎みどりの希望はみちて  
明るしや 清けしや  
我らの園 我らの門  
あしたに夕べに集ふ  
手を引き助けて円かに睦みて  
愛あり仁ある人とならん

ああ見よ鳥海七千餘尺  
虚空に聳ゆる巨人の姿  
黙示に学びてわれらの健児  
六百並んで高きに向ふ



平成14年度  
総会・懇親会  
案内

## 新・東京亀城会旗のもとに集おう

大正九(一九二〇)年に創立された山形県立酒田中学校は、昭和二三(一九四八)年に山形県立酒田第一高等学校、同二五(一九五〇)年に山形県立酒田高等学校となり、そして同二七(一九五二)年には山形県立酒田東高等学校と改称し、現在に至っています。

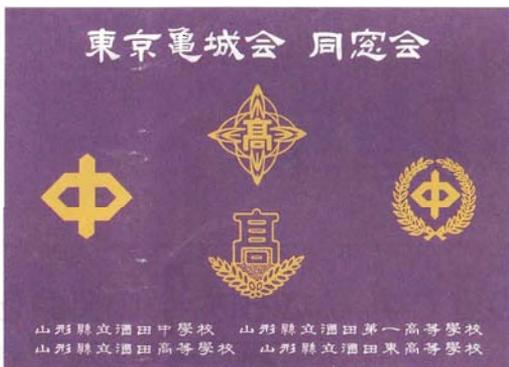
この間校章も三度変わり、それぞれの学校名と校章には、ふるさと酒田と同じくらしいの思い入れがあります。

四種の校章と学校名を網羅した東京亀城会旗が完成し、今年度の総会・懇親会で初披露します。

実行委員は末尾が「一七」の卒年度で、まさにラッキーセブンです。この新旗のもとに集い、庄内の高校のご来賓の方々、母校からお招きした恩師とともに語り合おうではありませんか。

記

◎日時 七月二〇日(土) 正午より



東京芸術大学助教授・佐藤時啓(引回)氏による新会旗のデザイン

◎会場 五反田ゆうぼうと

(重陽の間)

品川区西五反田八―四―一三  
電話〇三・三四九〇・五二一

◎懇親会費 八〇〇〇円

\*但し一―二五回卒、六九―七六回卒は六〇〇〇円。七七回卒は無料

◎交通 J R 五反田駅西口より徒歩五分、東急池上線大崎広小路駅となり

◎お招きした恩師 新国 守先生 佐藤睦子先生

◎年会費 二〇〇〇円

(東京亀城会会員は、東京亀城会会費の納入を優先していただきますようお願い致します。)

第22号目次

- 平成14年度総会・懇親会案内◇1
- 東京亀城会・
- 平成13年度活動報告◇2
- 東京亀城会役員候補／
- 会計・予算報告◇3
- 母校の現状報告◇4
- 亀城会だより◇6
- 同期会・昨日今日◇8
- 先生元気だが◇13
- ふるさと発◇14
- 同窓会だより◇16
- 亀城人往来◇17
- メールで訪問◇19
- 特別寄稿◇20
- 東京亀城会会則◇22
- 事務局からのお知らせ◇24

# 東京亀城会 平成一三年度活動報告

## 一、総会・懇親会

○平成一三年七月一日(日)

五反田・ゆうぼうと七階重陽の間

○出席者数・一四四名

(会員一〇七名、来賓二名、学生一五名)

○喜寿祝

## 二、賀詞交歓会&第2回セミナー

○平成一四年一月一九日(土)

五反田・ゆうぼうと七階重陽の間

○出席者数・六〇名

(会員四四名、学生一六名)

○講師

・阿部義弘

(阿部事務所代表、二四回)

「我が演劇人生」

・矢野和男

(日立製作所株式会社中央研究所システムLSI研究部部长、五三回)

「単一電子メモリの室温動作開発の経緯」

## 三、平成一三年度亀城同窓会出席

○一月一〇日(土)

ガーデンパレスみずほ

## 四、他校交流として他校同窓会総会に出席

○如松同窓会(鶴岡北校)

平成一三年六月九日 上野精養軒

○東京鶴翔会(鶴岡南高)

平成一三年六月一六日

○東京みやまちどり会(庄内総合高)

平成一三年七月七日

東海大学校友会館

○東京紫紺会(酒田商業)

平成一三年七月八日 帝国ホテル

○東京有い会(酒田西高)

平成一三年七月二〇日 パレスホテル

○城畔同窓会(鶴岡工業)

平成一三年一月一日  
ホテルイースト21東京

## 五、拡大理事会・会務執行理事会等

○拡大理事会

平成一三年四月二一日(土)

ゆうぼうと六階花梨

○会務執行理事会

平成一三年四月二一日(土)

ゆうぼうと六階花梨

○会務執行理事会

平成一三年六月一六日(土)

庄内館

○会務執行理事会

平成一三年九月二三日(土)

庄内館

○会務執行理事会

平成一四年三月二三日(土)

庄内館

31年目の夏です。私たちは1の笑顔をお忘れません。

6,672

<創業より平成14年7月末迄の建築販売戸数>

☆文化放送のCMでおなじみの

木のりすずらん苑

本格木造分譲住宅  
責任を語る10年保証の家

●都知事免許(10)第22708号/建設業登録(般13)61085号

●住まいのコンダクター

設計 株式会社 鈴木工務店  
施工

http://www.suzaken-home.co.jp/

■本社/東京都板橋区弥生町28-10 TEL03(3974)2805(代)  
■池袋店/東京都豊島区南池袋2-27-3 TEL03(5992)2771(代)  
■大宮店/埼玉県さいたま市吉敷町4-37-4 すずらん館ビル TEL048(642)1731(代)



いい家とは、つくる人の情熱で生まれる。

一戸一戸に真剣勝負!

木の音り・すずらん苑が誕生してからは31年目。手がけてきた建築販売戸数はおかげさまで6,672棟余。その一戸一戸のご家族の笑顔は未だに鮮明に覚えています。

出逢いからご入居後の後々まで親戚づきあいをしてきたのですから忘れるはずはありません。そのお客さま一人一人に支えられ教えられ、信頼されての積み重ねでした。

これからもこの情熱をお忘れずに品質に責任を持ち、快適な住まいを心をこめてお贈りしたいと思います。

代表取締役 鈴木 藤 男 (昭和31年卒業) 同窓の方、県人の方が住宅建築及びご購入の際には特に優遇させていただきます。



## 母校の現状報告

### 新しい時代の酒東高づくり



校長 石川 久

この度、酒東一三代目の校長としてご縁をいただきました。高校卒業以来、三十九年ぶりに母校に戻り、感激もひとしおであります。高校時代は古い木造の校舎で学びましたが、現在の校舎も築三〇余年が経って耐震性に問題を抱えており、新時代に対応した新校舎の必要性を感じております。

一方、本校の活動状況に目を向けますと、旧制中学校以来の大きな目標である「日本一の中学（高校たれ）」は現在も熱い期待として続いております。しかしながら現実の生徒達は激動の社会で揺れ動いており、実績からも地域の冠たる進学校として胸を張るには躊躇があります。国際社会に羽ばたく人材の育成は本校の使命であり、全国の列強高校に伍するためにも、生徒に一段高い学力を求め、部活動では競技力を向上させ、難題にチャレンジする心身共にたくま

しい生徒を育成することが最大の課題であります。

東京亀城会の皆様には、新しい時代を先取りする学校づくりに向けた本校生徒・教職員の日々の実践に、倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

### 「知・情・意・力」を達成する教育



頭 馬場 周一郎

四月に赴任いたしました相馬と申します。かつて、新採で昭和五二年から六年間本校にお世話になりました。言わば、酒東は教員としての私を育てていただいたところでもあります。その御恩に報いるためにも、本校発展のために微力ながら精一杯努めたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

およそ二〇年ぶりの勤務になります。立派な新体育館、最新設備のコンピュータ・ルームやL.L教室など、施設設備の充実ぶりには目を見張るものがあります。このように恵まれた環境で高校生活を送れる生徒達は、大変幸せだと思えます。これらひとえに同窓生の皆様の御協力のお陰と感謝いたしております。

また、現在は女子生徒が全体の半数を超え、以前と比べますと、やや華やいた雰囲気を感じられます。しかしながら、酒東は現在も「質実剛健」の校風と「文武両道」の伝統を引き継ぎ、生徒達は日々、学習や部活動に励んでおります。五月に開催された地区高校総体では、各部とも優秀な成績を修め、数多くの部・個人が県大会へと駒を進めております。また、サッカー部は、先日の県高校総体で第三位に入賞し、東北大会出場を果たしました。

これからも、この良き伝統を継承し、「知・情・意・力」の教育目標達成に向け、全職員一丸となって努力してまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。

### 文武両道とこしへに

生徒部長 小松明俊  
本校の文武両道の精神は今年度も安泰です。部活動の加入率も九割を超え、その中で運動部の占める割合は六割を超える状況です。

トレーニングルームの利用状況は大変活発で、その効果は先に行われた地区高校総体の成果となつて如実に現れています。六競技七種目で団体優勝をし、その数は昨年同期よりも三つ増えています。また個人レベルでの優勝数も増加しています。

玄米食を  
してみませんか？

オランダせんべい  
酒田米菓 (株)

佐藤 茂 (第28回)

〒998-0823

山形県酒田市両羽町2-24

電話 (0234) 22-9541代

FAX (0234) 22-5239

フリーダイヤル 0120-000-204

「玄米モーニング」

サンプル提供します。

ご希望の方は、右記へご連絡下さい。

雄尚男 久一  
小松 小松  
(第16回) 小小  
(第46回) 小小  
(第28回) 小小

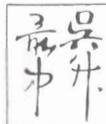
創業天保三年  
全国銘菓協会員店



本店 山形県酒田市吉町一丁目2番1号  
電話 (0234) 22-5151代

日本海、庄内磯の青のりを  
使った羊かん。

呉竹  
くれたけ羊かん



「青濁なる色調、気品ある風味精なし」と正岡子規先生が推奨された日本海、庄内磯の青のりを使った最中。



# 亀城会だより

## 亀城亀城会

会長 白崎 良明



ふくの会(29回卒)の三日目のヨーロッパ修学旅行が五月二四日出発。時を同じく三四回卒の皆さんもオランダへの旅に出た。ふくの会はそもそも母校での修学旅行が突然中止になったことでの夢を実現したい思いが、このような遅い修学旅行へと結びついているのです。それにしてもドイツ在住の三丁目俊三御夫妻は、同期の仲間ということで、一度ならず三度もオゾン・オバンの引率は大変世話の焼けるものと、その苦勞の程が察せられます。

このように各期別で、それぞれ工夫をこらされた親睦、交流が行なわれていると思いますが、同窓会発展の基は、同期を中心にした活動そのものであり、同期を中心にしたとらえております。これからもそれぞれの同期会での親睦をより一層深められることを期待いたします。

お陰様で今年度の協力金も目標以上の六〇万円を超すものとなりました。来るべき九〇周年、百周年での有意義な事業資金として活用したいと思えますし、今後とも同窓生の皆様の温いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 遊佐亀城会

会長 齊藤 良太



最近の新聞テレビ等の報道を見ると「道徳」から外れた青少年による凶悪な犯罪、行政庁に於ける不祥事等で、どんな事件かなど記憶に追いつけない程の毎日であります。私達の幼い頃は祖父母、親が繕い物をしている脇で机を出して勉強していたものであります。一家団樂の中から自然と躰も培われていったものです。いまでは人のふれ合いも切り離され、親は子を叱ることも出来ず、お金と物を与えておけば、育つ世の中でありませう。

ゆとり教育もほど遠く、自分の意思で進みたい道を選んでこそ、人生を充実させる事が出来ます。親も教師も社会もそう教えていくことが、最も大切であると思えます。人生八〇年を迎え、少年時代から今日までスポーツや社会教育に長年努力を重ねてきました。

とき折り、ボランティア奉仕に我が身を忘れて参加をし、自分を深く反省をし、命の尊厳さを感じた次第であります。

## 八幡亀城会

事務局 小松 秀司



はじめまして、今年度から事務局を担当することになりました小松です。今まではなかなかお手伝いできなくて加藤会長さん始め三任さんには誠に申し訳なく思っております。

## 住まいのあんな事、こんな事。

あなたが描く生活シーンやこだわりをお聞かせ下さい。ライフステージに合わせた、住まいづくりをお手伝いします。お気軽に、ご相談下さい。



暮らしを考えた、住まいづくり

林建設工業株式会社住宅部

# カムホーム

酒田市大町 6-12 ☎ (0234) 26-6868

<http://www.hayashikensetsu.co.jp/comehome/>

酒田でのお泊まりは



## ホテルサニールト酒田



酒田市北新橋 1-19-7  
☎ 0234-26-1212

八幡亀城会では四月二〇日に総会を開催し事業計画を決定しています。特に六月二二日に清掃奉仕活動を実施し、きれいな八幡町づくりに貢献したいと考えております。

今年の八幡町は、六月二〇日に新しい鳥海山荘がオープンします。現在の場所より上に建設しており、見晴らし、外観とも素晴らしいものです。ぜひとも一度ご利用ください。申込み連絡先は電話〇二三四(六二)一七二七です。

## 宮城亀城会

会長 伊藤 政記



宮城亀城同窓会は平成一四年六月一日(土)に仙台市勾当台会館で開催されました。

今回は、本部より白崎会長、母校東高の石川校長先生にご出席をいただき、約三〇名の出席を得て和気あいあい、楽しい一時を過ごしました。白崎会長からは本部同窓会の活動状況協力金の使途計画等お話があり、又石川校長先生からは  
学業、入試、部活の状況を樂觀悲観両面からのお話があり、出席者一同多大の関心をもって聞き入りました。  
出席者の中には恩師の岩淵先生、堀先生のお嬢様、ご子息も



出席し、和やかな雰囲気の中同窓会となりました。

一方当日は二九年卒、三四年卒の同窓会が、ヨーロッパで開催されており、そちらに出席の方もおり、国際的な話題でも、盛り上りました。

会員の中には、ご高齢の方やご病気の方、ご家族の看病の方も居り、お亡くなりになられた方もおります。

何といっても健康と友情が最も大切であり、これから楽しく且つ確固たる人生を送ろうと誓いあつて来年の再会を約し終わりました。

## 山形亀城会

会長 石山 雄一



山形市周辺には五四四人(平成一四年二月現在)の会員がおり、毎年一回総会を開いて交流しています。

今年の総会は二月二二日、JR山形駅構内のホテルメトロポリタン山形に第八回卒から七一回卒まで七六人の会員が集い、青春時代の思い出に、楽しいひとときを過ごしました。

石山雄一会長のあいさつ、知野弘校長から母校の近況、在校生の活躍について報告があつた



後、小林茂實顧問の乾盃で懇親に入りました。席上、前年の総会で提案された「山形亀城会の生い立ち」について、第二五回卒の後藤保美さんがまとめた歩みと写真のコピーが会員に配られ、発足当時の苦労話などが披露されました。

山形亀城会は山形地域に住む同窓生と庄内の連携を強めようと、一六回卒の小林顧問らが世話人となり、人数が多かった二五回生を実働部隊として昭和三十一年春に、山形市の県あこや会館で第一回総会を開きスタートしました。あと四年で五〇年の節目を迎えますが、幅広い年齢層の多くの会員を抱え、組織の改革が新たな課題になっています。

## 平田亀城会

会長 高橋 昭七



亀城同窓会平田支部は、昭和五五年に発足し、現在、会員総数一三〇名で組織、運営されております。

会員相互の親睦を図り、かつ母校の後援にあたることを会の目的とし、年一回の総会の席上で事業、予算計画を決定し、各公民館単位に選出された理事を中心に事業展開いたしております。

総会では、先輩の方々の当時の学生生活や母校に対する深い思いを感じさせるお話にあらためて亀城同窓生であることを痛感する機会となっております。

最後になりましたが、東京亀城会のご活躍に敬意と感謝を申し上げ、益々のご発展をご祈念し挨拶いたします。

13回 第一三回卒の同期会  
佐藤昌祐

私達の属す第一三回生は、東京で会合を行う事が無く、郷里の在住者と合体して同期会を行って来た。毎回恩師の村上与市先生もご出席下さって百歳に近い先生の元気に驚いていたが、昨年は先生も御欠席。会員の出席者も九名と少なくなり、

欠席者等の事情も考えて、甚だ心残りながら、昨年を以て開催は打切りと決定した。会場は由良のホテル八乙女であった。私は東京都美術館で、蒼騎会の四〇周年記念展。続いて銀座の文藝春秋画廊で個人展の為、その同期会には出席出来なかったの、甚だ残念に思っている。今後は百歳まで生きそうな同期生を見付けてその人と遊びたいと思っている。

16回 寿緑会の新年会での傘寿の賀  
庄司悌二

寿緑会平成一四年新年会は三月一〇日有楽町のニュートーキョーで行った。戦時中学徒兵として駆り出され、生き残った私達はいかに老年に成長するかを知ることが、英知の主要な仕事であり、生活の偉大な技術における最も難しい事の一つであるという哲学者の言葉を学びつつ八〇才を迎え「傘寿の賀」を行った。藤井君が甲府のワインナリで「春秋互寿」とデザインし、わざわざ造ったワインを持って来て乾杯し、これからもどのように年を重ねて行くべきかを語り合って盃をかたむけ和氣譚々のうちに祝賀した。

左から高橋幸吉、庄司、斎藤、越後谷、小野、樋口、高橋浩、藤井、今野



同期会・昨日今日

21回 酒田でも東京でも  
大川龍太郎

二一回同期生会は、毎年一〇月に酒田で開かれる。去年は一月一六日、治郎兵衛に一三人が集まり、仙台から一人、東京から私を含めて二人が参加した。また去年は、ここ数年中止していた首都圏在住二一回生の同期生会が再開されて、酒田の会からちようど一カ月後、一月一

五日に新宿モノリスの会場に八人が集った。それぞれ出席者は多いとは言えないが、皆元気で談論風発する。二一回生は、昭和一五年入学、昭和二〇年卒業で、今や七〇歳台半ば。白髪頭、禿頭、顔のシワもふえたが、同期会生はいつまでも続けたいし、私は酒田の会にも東京の会にも、いつまでも出席したいと思っている。

22回 意気軒昂

斎藤昭三

今年には春の訪れが早く、三月中旬には桜の花が既に満開とい



う、これまでにない異常気象とも言うべき年であった。こんな最中の四月一五日二時から、五反田ゆうほうとで同期会を開催、友情の盃を酌み交わしたが、今年もまた東京圏内に住む友人一人を失ってしまった。

それにつけても、集まりの悪いのは何故なのか、通知に返事をくれる者、返事だけで一度も出て来ない者、様々であるが善意に解釈して今後とも通知は出して行くことにして、今回も大いに飲み且つ放談することにした。中でも最近の人間に国家という意識が全く無い事に憤慨する意見が多く、「これは反米を唱えながらマツカーサーの植民地政策を実行してきた教育関係者の責任だ」と大気炎、大放談会となった。二二回意気軒昂。

23回

### 毎年出席者が増加

後藤 健

今年も例年のごとく倉田常任幹事のお世話で四月二七日日本橋の仙台工業倶楽部に集まった。酒田の同期会から蜂屋の斎藤地元幹事も出席、北は札幌から石黒君が駆けつけ鹿間君は卒業以来の初参加。一九名の元少年が酒を酌み交わし在りし日の思い出や不参加の友の消息を語りあった。元教師の阿部三男君から新学習指導要領や教育制度の解説があり、学力低下問題が話題になった。また医師風間君からは風間家の先祖の研究や生活習慣病の話があった。飲むほどに盛り上がり日本の国情を憂い孫の世代を心配する議論が相次いだ。『ああ見よ鳥海』を合唱し来年

の再会を期した。毎年出席者が増えておりうれしい現象である。



### 同期会・昨日今日

### 25回 来年もまた会おう

五十嵐儀勇

毎年、恒例になっている東京亀城会(二五回生(酒田第一高等学校)の会合が、平成一三年一月最終金曜日の二九日午後六時から、銀座の日航ホテルで開かれました。

今回は酒田から上京した名和収君を迎え、一四人が参加しましたが、名和君は毎年のように上京してきます。

昨年は長いこと病氣だった人も

久しぶりに参加してくれました。それにしてもお互いに年を取ったせいか、毎年参加者が少なくなっていくのがさびしい限りです。

参加者は「新橋・西銀座の夜を過せるのだから」と喜んでいますが、「来年もまた会おう」ということで解散しました。



28回

### 八百万の神々

斎藤哲夫

平成一三年一〇月某日、年に一度の逢瀬を楽しみに、ヒタ様よろしくいそいそと、渋谷某所に集まりました。

東京二八会は名簿によれば、遠く九州から関西・中部地方の人まで、会員数一五六名。今回の総会参加者は三七名。やむなく欠席した六〇名の人からは近況便りを頂きました。みな年相応に元気で、趣味に、仕事に、ボランティア活動にとガンバっています。

開宴と共に、瀟灑なホテルのラウンジは忽ち国際捕鯨会議の会場のような喧騒に侵され? 引続くカラオケバーは二時間にわたり占拠されてしまいました。後から集合写真を見ると、国際会議というよりは、岩屋戸の前に集まった八百万の神々といった風情です。



## 早春の「パロツク街道」を往く

佐藤 昭

今年、年度初めから大きな行事が相次いでいる。

四月―一昨秋のドイツ・オーストリア旅行参加者一四名を核に、東京ふくの会単独の訪欧団（同伴を含む三二名）が再び三丁目俊三君夫妻の案内でベルリン・ポツダム・マイセン・ドレスデン・カルロビバリ・プラハ・ブラチスラバ・ウィーン・ブダペスト（計五カ国）を訪ねた。

それぞれに由緒のある三つの歌劇場、ドレスデン・プラハ・ウィーンでのオペラ鑑賞が印象に残るが、特にウィーン国立歌劇場（R・シユトラウスの「ばらの騎士」）では、全員が左右のロージェ（栈敷席）一、二層の最前列を占めた。シーズ初めのため、歌劇場にかぎらず日本人の姿があまりなかっただけに、この夜だけは、私たちは目立つ存在だったかもしれない。中欧諸国の歴史と文化の厚みに圧倒された一日間の旅であった。

（酒田組は五月実施）

五月一八日―第三二回ふくの会総会。前回に続

き浜松町・芝弥生会館に酒田、郡山・魚津・鈴鹿からの四名を含む計五一名が参集。二次会は隅田川を上って三社祭で賑わう浅草対岸のレストランで行った。総会の席上、酒田ふくの会員が当番幹事の「有焯会」本部総会（六月）への参加の呼び掛けがなされ、本間英生君主宰の「コーラスふくのかい」のメンバーをはじめ、大挙して帰酒することになっている。



## 同期会・昨日今日

32回 東京三二二会「復活」のこと  
廣瀬 武

一昨年のこと、東京亀城会総会の二次会の形で、東京三二二会を開催した。

本部の三二二会は、三年毎、お盆休みに総会を開いているが、東京では亀城会の場を借りて集まるだけだった。しかも当番年を別にすれば、普段は数名の常連が出席する程度である。六〇才を過ぎ余裕が持てる年代になったわけで、久しぶりに召集をかけた次第であった。

東京地区在住者九五名のうち、当日出席者は二一名で、イマイチではあったが、東京三二二会の復活準備会のような雰囲気、開催時期や趣向について意見が出され、ともかく、今後またまには集まるようにしよう確認し合って別れた。



## オランダなどを訪問

長谷部和良

平成一一年九月、良い天気恵まれた羽黒山での四〇周年、その後三年、今年はオランダ在住の建部君の計らいもあり、五月下旬オランダ、ベルギー、ルクセンブルグ八日間の旅を実現させた。思い出深い楽しい旅になったと思います。さらに第二弾、東京で会いましょうを一〇月に行う事にしました。故郷の皆さん、全国各地在住の皆さん、東京近県の皆さん、今年はお互いに声をかけあってみませんか。久しぶりのなつかしい顔と顔とのご対面は何とも言いようのないものだ。一人でも多くの人が出てみようかなという気持ちになり、皆で楽しみませんか。お待ちしております。



## これからが本番

阿部尚記

我が同期会は卒業年度（昭和三年）をもじって「燦燦会」と名のる。「燦燦」の二文字には人生をキラキラと輝くものにしたいたいという願いが込められている。

さて、同期会活動報告をということであるが、我々の場合会員の居住区から大きく在郷組と首都圏組に活動が分かれているようだ。首都圏組に属する私は年に何度か四四年前の悪童どもと屈託のない話を肴に酒を酌み交わし、アウトドアではゴルフの交戦で健康の増進に努めている。そこには利害の差し扶む余地は無く心からリラックサできる空間があり、まことに嬉しい。これも気心知れた酒東同期の集いだからに他ならない。また、これは会としてであるが年に一度大勢が一箇所に集まって情報交換がてら旧交を温めている。

一方在郷組は在郷組独自で年に一度ならず顔合わせをしている模様。

この程度であるからお世辞にも活発な活動とはいえないが、年令的巡りあわせがそうさせているに違いない。即ち我々の大半はついでこの前まで現役の戦士として戦場を駆け巡っていたのだから。人生五〇年、今八〇年の時代を迎え、還暦を過ぎた我々同期生にも漸く心のゆとりと時間的余裕が生まれ

てきたようだ。四四年前ポブラ木のある学び舎から巣立った同期の面々をあらためて束ねて元気に楽しく過ごしたいと思っている。そういう意味で我が「燦燦会」はこれから爛熟期を迎えることになるとな。vivaゴールデンエイジ！



## 同期会・昨日今日

## みんななかよし会

本間勝弥

「酒東三七期は、通称みんななかよし会を年二回東京で開催しています。名前のとおり皆で仲良く楽しくやりましょうというのが基本理念で、イデオロギーや宗教を持ち込むのはダメです。年二回ですからその時は世俗のウサやいやな事は忘れて大いに楽しんで、新たな活力を取り戻しましょう。私も人生色々で、

山あり谷あり紆余曲折でしたが、これからは子育ても卒業して、いよいよ自分の人生を楽しむ年齢になりました。

特に男性は会社を退職

## 三九会にノーベル賞候補

後藤吉修

「三九会」の集まりも年齢の上昇とともに年々盛んになってきています。

年二回の全体会と年五、六回の分科会には初めての顔や地元酒田からの参加者も増えてきており、さながら三九会は東京本部酒田支部の感じになってきているこの頃です。

そんな中にビノグニュースが飛び込んで来ました。

名古屋大学教授の佐藤彰一君が「日本学士院員」を受賞しました。

テーマは七世紀フランス・ロワール地方の農民世界の再現ということですが、彼の受賞のお祝いを兼ねて、今年は盛大な全体会を予定しています。また更なる飛躍によってノーベル文学賞を心密かに勝手に期待している所です。



しますと寂しくなりますよ。ぜひ私どもと一緒に元気に楽しくやりましょう。ゴルフコンペもやっています。上手下手は関係なく皆さん大いに楽しんでいきます。今回は五月一九日に大月カントリークラブで大いに楽しんで来ました。スコア？ 今年は卒業四〇年ということでは八月一日に酒田のレストラン「樺」で合同で同期会をやりませんかとお誘いを受けていますので、三七期の皆さん、ぜひ参加してください。

42回

# ハチ（八、蜂）の会

高橋康夫

「光陰矢の如し」といいますが、逆に、あつという間に三五年前に戻れるのも我ハチの会の不思議であり、魅力なのです。今年は桜吹雪の舞う三月三〇日、東京の銀座に約三〇名が集まりました。山形や高崎からの常連の他に、今年はニューヨークから馳せ参じた方もおり盛りあがりしました。

会社のリストラ、親の介護や子供の結婚、孫の話から田舎の代議士先生の問題まで話は尽きません。我が団塊の世代は、子供の頃から今までずーっと時代の波と真正直に向き合って生きているんで

す。四時間も飲んでからの二次会  
は誰かの行きつけのスナック。そ  
れも休日のママを拝み倒しての開  
店。心より感謝申し上げます。庄  
内弁と東京弁のごちゃ混ぜの楽し  
い一夜でした。  
PS・四二年卒の同期会は、酒田  
と神奈川でも行つてます。



48回

# 来年は是非とも同期会を

加藤将展

わが学年の同期会等の活動状況  
と言っても、四年ほど前に酒田で  
同期会を開いたのが最近では唯一  
の成果で、当時幹事をなさった大  
泉君には大変感謝しています。そ  
の後には私などは、仕事や勤務先で  
の人間関係に追われ、高校同期と  
の集まりなどはもとより、同期の  
友人との連絡すらもなかなかでき  
ないのが正直なところの現況で  
す。

昨今、特に同窓会や同期会等の

集まりよりは、地域に密着  
したふるさと会などの集ま  
りに多少関心が移りつつあるよう  
に感じられますが、この機会に奮  
起して、来年は酒東卒業三〇年目  
の節目の年でもあり、わが四八期  
の結束と親睦を図るため、同期会  
開催の実現に向けて努力したいと  
思います。有志諸君のご賛同・ご  
連絡をお待ちします（自宅TEL  
〇三―三二〇二―六七九〇）。

最後に、この紙面をお借りして、  
東京亀城会の運営に日ごろからご  
尽力いただいている役員の皆様様  
方に同期を代表して心より厚く御  
礼申し上げます。

46回

# 卒業三〇周年記念飲 み会

丸藤 晋

我々昭和四六年三月に卒業した  
同期は、辰年と巳年の人があほとん  
どなので、同期会の名称は辰巳つ  
まり「巽会」となっています。早  
いもので卒業三〇年を迎え、それ  
を記念する飲み会を、平成二三年  
八月一二日酒田の香梅咲で盛大に  
行いました。

出席者は、東京組を含めて約五  
〇名で、英語の佐々木猛先生と元  
校長の五十嵐千秋先生を囲んでの  
会になりました。酒田地区  
会長の菅原靖君の取り計ら  
いで、酒田舞娘の踊りを楽  
しんだあとに記念撮影。こ  
れが、四〇代の最後の記念  
写真となりました。あまり  
にも人数が多いので、二次  
会は二組に分かれ、夜中ま  
で盛り上がりました。

なお、巽会ではメールによる相  
互連絡を推進するかわら、この



shigeiki@nifty.com

六月に  
掲示板  
を設置  
しまし  
た。詳  
細は、  
次のと  
ころま  
でメー  
ルして  
くださ  
い。

53回

# 充実「東京ゴミの 会」!

嶋村(阿部)三千代

第二回「東京ゴミの会」は、秋  
晴れの平成一三年一〇月二〇日、  
初参加者や地元酒田からのゲスト  
参加も含めた総勢二六名(二次会  
参加、外二名)で、酒東先輩の経  
営する「鳥海」で芋煮に舌鼓をう  
ちながら行われました。中学受験  
を控えた子供の親の心境や、NY  
のテロの前日にあのビルで会議を  
していた者の話など、都会に暮ら  
すメンバー達の日常を語り合いま  
した。四十路を過ぎて、地元を離  
れた年月の方が長いにもかかわらず、  
皆が話す酒田弁(庄内弁)の  
健全さにはっとさせられた方々も  
多かったのではないだろうか。

また、地元の同期生から送られ  
た数々の「酒田のウメモノ」をは  
じめとした名産品争奪のビンゴゲ  
ームも行われ宴たけなわ。土曜日  
の昼過ぎから始められた一次会  
は、「白熱の気」大合唱で締めく  
くられるまで、あつという間の四



時間、  
にぎや  
かに繰  
りひろ  
げられ  
ました。  
絶対  
今年も  
集まろ  
うね!

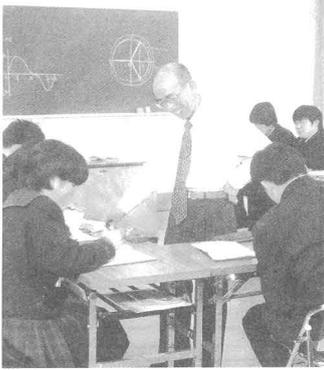
## 同期会・ 昨日今日

## 元氣です

新国 守

酒田東高等学校を最後に、公立高等学校を退職して五年が過ぎました。酒田東高等学校には三〇年お世話になり、人生の約半分を送ったことになりました。今は、私立の酒田南高等学校に講師として行っております。特別進学系の授業だけの担当ですので、あんまり違和感はありません。どこの高校生もかわいいもんだなあと思っています。講師ですので、授業だけの担当なのですが、生徒等からはいろんな話しかけを受けます。私のお父さんが、お母さんが、お兄さんが、お姉さんが先生の授業を受けましたって、よく言われます。みんな酒田東時代の方々です。つくづく酒田って狭いんだなあと思いますが、酒東が長かったせいもあるかも知れません。

二才になる孫(女の子)がいます。奈良に住んでいるのですが、年三回ぐらい、一〇日とか二〇日とか遊びに来ます。孫



つとてつともなくかわいね。目の中にいれても痛くない程

## 先生元氣だが

って、本当なんです。つい最近来ましたが、また九月に来るっていうから、これも楽しみの一つです。

最近では仏教の教典ばかり読んでいます。もう一〇年以上、二〇年近くになるかも知れません。くりかえしくりかえし読んでいると、熱心な仏教の信者が出るのはあたりまえという気持ちになります。私等日本人の生活に、根深く仏教的なことが入っていることも分ってきました。日常使っている言葉も、教典の中から出て来たものもたくさんあるっていうことも知りました。

最後になりましたが、同窓生のみさんの活躍を祈ります。酒東はすばらしい高校だと、自負してよろしいと思います。

## 一二世紀を楽しみたい

佐藤睦子

生徒時代も含めて一九年間お世話になりました。現在は酒田南高に時間講師として勤務しております。

酒東時代、いかに恵まれた教員生活であつたかを、今、改めて思います。生徒に対しては、同じ学び舎で学んだ自分の姿を重ね合わせる事が度々でしたし、何ととっても学習の姿勢がしっかりできていた生徒達との生活は、充実していて楽

しいものでした。

酒中時代から先輩達によつて築きあげられた伝統の力を感じさせられる場面も多くあります。

現在は、時間講師ですので、私の責任範囲は授業のみです。気楽といえば気楽ですが、部活動等を通しての触れ合いが乏しい面、生徒達と深い人間的信頼関係を醸成するのに時間がかかりそうです。でも、南高の生徒達も一生懸命応えてくれて、充実した毎日を送っております。

退職を機に、家を建て替えました。入居したばかりなので、何がどこにあるのか定かでない、探し物に時間を費やしている状態です。今まで、寒くても暗くても、東北はこんなものと思ひ込んでおりましたが、それは間違いであることが分かりました。今の時代は、その気になつて求めれば、かなりの程度まで改善できる素材や技術や方法が進んでいることが、家を建て替えてみて分かりました。

命が永遠ではないことを、若い時より考えるようになっております。「今と今」という間の今はなく、今という間に今ぞ過ぎゆく」という母から教えられた言葉が大切に思われる昨今です。





## 市町村合併に向けて

— 酒田市

酒田市は、昭和二十九年の合併により現在の姿となっています。

開催されている市町村合併説明会



現在、全国的に市町村合併が議論され、本市でも合併の議論が盛り上がりを見せています。その背景には、①生活圏の拡大 ②少子高齢化等社会情勢の変化への対応 ③地方分権の推進による行政基盤の強化 ④市町村合併に対する国の支援措置の期限が平成一七年三月に迫っていること等があります。

本市では、将来的には庄内一つを見すえながらも、古くから交流があり、生活圏が一体で、ごみ処理や消防等に共に取り組んでいる六町（遊佐・八幡・松山・平田・余目・立川）との合併を、市民と一緒に意見交換しながら、検討を進めています。

## 奥の細道鳥海ツーデーマーチ 第10回記念大会

— 遊佐町

「神の棲む山鳥海山、聴こう！山のささやき、波の高鳴り、大地の鼓動」をテーマに全国のウォーカーから愛されて来た奥の細道鳥海ツーデーマーチが今年で一〇回目を迎える。今年は一〇回を記念し、イベントが目白押しである。その一つが「古き良きイギリス」田園風景ウォーキング、本町と交流しているイギリスのストラットフォード・アポン・エイボンののどかな田園風景を楽しみながらのウォーキング。（七月一日〜二日）

そして鳥海山麓を歩いて一周する「鳥海山一周ビッグウォーク」。（九月一日〜九日）

鳥海山が緑から紅色に優しく変身する時、ウォーカーは一緒に風に、鳥に、山になる。

（佐藤源市 49回）



水の郷 八幡の地酒

美酒

**麓井**  
フモトキ

八幡町 麓井酒造株式会社

TEL 0243-64-2002  
FAX 0243-64-2003

資料館のある酒蔵

酒王 **初孫**

初孫 蔵探訪館ご案内

- 開館時間 午前10時～午後4時30分
- 休館日 毎週月曜日
- 見学内容 日本酒関連資料コーナー  
タイプ別日本酒の試飲  
映画上映 工場見学
- 入館料 入館・見学はすべて無料です。

**東北銘醸株式会社**

山形県酒田市大字十里塚字村東山125番地の3  
TEL: 0234 (31) 1515 FAX: 0234 (31) 5588

全国鑑評会 5年連続金賞受賞  
(国税庁)

**上喜元**

日航国際便に乗る“選ばれた酒”

**酒田酒造株式会社**

酒田市日吉町2丁目3-25

TEL 0234-22-1541  
FAX 0234-22-1542



好評発売中  
三十九衆  
酒田酒造株式会社  
酒田市中大字東字南原山五〇  
TEL 〇二三四九二二二二  
FAX 〇二三四九二二八八

## 新・鳥海山荘が完成

— 八幡町

今、小鳥たちの美しいさえずり、蝶の優雅な舞い、沿道、庭先が美しい花でいっぱい、八幡町に、六月二〇日待望の新しい鳥海山荘が完成しました。鳥海高原家族旅行村、猛禽類保護センターと併せて野外活動の拠点として整備した施設です。

この施設には、鳥海山の野鳥・野草・動物の情報スペースを設置し、山岳ガイドや自然観察事業、野鳥観察事業、登山の情報提供も行っています。家族、友達、会社の仲間などで、雄大な鳥海山の自然の中でのんびりとくつろぎ、露天風呂で満天の星空と庄内平野の夜景を眺め、八幡の味も充分楽しむことができます。魅力いっぱいの八幡町にぜひおいで下さい。

(八幡町長・後藤孝司)



## 暮らしやすい町目指し

— 平田町

二一世紀の町づくりプランである、第四次総合計画をもとに、暮らしやすさが実感できる町づくりを進めています。町を取り巻く状況が刻々と変化するなかで、先人が築き上げた薫り高い文化と美しい自然を継承しながら時代の要請に応えた施策を展開いたしております。

七月には全国から注目を浴びた公開コンペにより建築された複合施設「タウンセンター」が竣工し、生涯学習拠点施設のオープンとなります。固定席ホールとマルチメディアセンターから平田発の情報が皆様の所に届くのも間もなくの事と思います。農家では減農薬・減化学肥料の庄内米を栽培し安全で美味しい米をお届けいたしております。

(平田町長・加藤寛亮)



## まちづくり

— 松山町

ふるさと松山の発展と元氣のある町づくりを進めるため、基本構想では、町の将来像を、「自然の恵み 文化の薫り 輝きの町 松山」と定め、町民が多様な豊かさを享受できる地域社会の創造と次世代への継承をめざしています。

平成一三年度からは、新エネルギー導入調査事業に取り組み、太陽光の利用や風力発電またバイオマス等を利用したエネルギーを調査し可能性について追求しています。また、平成一三年度をもってその歴史に幕を閉じた県立松山里仁館高等学校が、生涯学習施設「里仁館」として再出発することになりました。六月に開学することになりました。地域の生涯学習の拠点として各界より期待されているところで、

(松山町長・佐々木藤正)



## 市町村合併が課題

— 余目町

地方分権の推進とその延長にある市町村合併が自治体の課題になっていきます。

「公正、公平、公開」を町政運営の基本として民生の安定、福祉の充実、産業及び教育・文化の振興に取り組み、活力ある町づくりを推進してきました。新総合計画もスタートし「参画」と「協働」を柱に「新世紀田園都市あまるめ」の創造に向け、町民と共に理念や方向性を見定めながら、将来の余目町のあるべき姿に想いをいたし、その実践に向かって、第一歩を踏み出しています。特に、町づくりは人づくりの理念のもと「学ぶ心をはぐくみ、創造性豊かな文化の薫る町づくり」を目標とし、一人ひとりが努力しております。



第一八回亀城会ゴルフコンペ

澁谷英夫 (43回)

今回は「三月は期末で忙しい」という声にお応えして、桜のある内にと四月四日に決め、二月早々に予約を致しました。ところが今年の桜は早いなんの、三月中旬が満開で月末には散つてしまい、桜と縁のない東京亀城会ゴルフコンペとなりました。しかしながら昨年に比べ五名多い一六名の参加者を得、四組のフルゲイトで熱戦が繰り広げることが出来ました。

当日天候は上々でしたが、風が強クスコアメイクに苦しむ中、さすがにローハンディキャッターが実力を発揮。春に強い三期の鈴木さんがベスグロ優勝(春は三年連続優勝)、準優勝は四三期の五十嵐さんが参加二度目での入賞、三位には初参加四期の小野さんがハンディキャップに恵まれ(初参加者は新ペリア方式で計算)入賞し、最高齢七九才の越後谷先生は堂々の四位でありました。前回秋の優勝者、四四期の遠藤さんは四位とタイスコアの六位と実力を出し切れず、次回に持ち越しとなりました。

た引き続き女性の参加があり、収穫の多い東京亀城会ゴルフコンペとなりました。

さて次回秋のコンペは一月七日(火)に開催の予定であります。皆様の奮つてのご参加をお待ち致します。特に女性の参加は大歓迎であります。

◎下記のところまでFAX又はメールください。

FAX 澁谷行  
○三三四六一一九九九  
メール: hidshibuya@nifty.ne.jp

酒東柔道部東京OB会

山代克彦 (33回)

恒例の題記OB会を五月二五日五反田ゆうほうとで催しました。今年は一二名の参加で酒田本部から彦坂会長、小山副会長、大淵前会長の三名が出席し賑やかな会合となりました。いつも大きな話題は二つ。

- ①何よりも母校柔道部の活動状況や如何に?
  - ②出席者の近況よりも参加できなかった在京OBの消息
- 平成に入ってから、母校の女子変化が目立ち、柔道部も女子チームはできるが男子が組めないという昭和年代OBには信じ難い話題が続いていたのですが、今年男子チームが可能ということまでひと安心でした。年一回の会合で皆名残り惜しく三回まで繰り返した一日でした。

|  |  |
|--|--|
| <p>北郷耳鼻咽喉科クリニック</p> <p>院長 北郷直克<br/>(昭和五年卒業)</p> <p>〒二三二・〇〇五六<br/>横浜市南区通町一丁目<br/>電話 〇四五七二五一一三三<br/>(大正十四年前遊佐小学校卒)</p> | <p>佐々木特許事務所</p> <p>弁理士 佐々木重光<br/>(昭和三年卒業)</p> <p>〒〇五・〇〇三三<br/>東京都港区西新橋一ノ七ノ一四<br/>垣見ビル七階<br/>電話 〇三三三八〇八五一八<br/>FAX 〇三三三八〇八五一九</p>           |
| <p>蒼騎会代表<br/>画家 佐藤昌祐<br/>(昭和十二年卒業)</p> <p>練馬区東大泉三三〇一十四<br/>電話 〇三三九二五・六二七二</p>  | <p>相川・田中法律会計事務所<br/>弁護士 相川俊明<br/>(昭和三年卒)</p> <p>東京都新宿区四谷一一九<br/>有明家ビル6F<br/>電話 〇三三三五三四六三八<br/>FAX 〇三三三三三三四三三八</p>                          |
| <p>東京亀城会 顧問<br/>佐久間 正<br/>(昭和二年卒業)</p> <p>世田谷区代田一四〇一四<br/>〇三三三四一一八五四五</p>  | <p>医療法人 愛慈会 理事長<br/>西佐倉病院<br/>医学博士 池田浩<br/>(昭和三年卒業)</p> <p>〒二七〇一六一六<br/>千葉県印旛郡印旛村岩戸<br/>京成成田線白井駅印西行バス<br/>西佐倉病院入口下車<br/>電話 〇四七六(九九)〇二六</p> |
| <p>上林眼科医院<br/>院長 上林 茂<br/>(昭和二十七年卒業)</p> <p>〒三六二・〇〇四七<br/>上尾市今泉三六五一六八<br/>TEL 〇四八七八一一〇二九〇<br/>FAX 〇四八七八二六一五七〇九</p>   | <p>税理士 飯野 紘<br/>(昭和三四年卒業)</p> <p>〒二〇二・〇〇七六<br/>千代田区五番町二<br/>番町パレス四〇三号<br/>電話 三三六一〇六九一<br/>FAX 三三六一〇六九五</p>                                 |



# 亀城人往来

## 酒中夜間部時代の思い出

根上茂三 (24回)



私は昭和十八年四月に酒田中学校夜間部二回生として

て入学し、昼は鉄工社の管轄部に入ってカーバイトの熔鉱炉の修理をしたり、塩化ビニール工場の修理等を行いました。その後東北電気鉄工株式会社に移ってからは、製缶工として、一貫五百匁の大ハンマーを振り上げ

て、朝七から午後四時半迄働いておりましたが、何といっても、夜間部時代の空襲は忘れることができません。

昭和二〇年八月一日日グラマン戦闘機六機が酒田市上空から三千トン岸壁に接岸していた三千トンタンカーを爆撃。船は黒煙上げて沈没しました。それから昭和二〇年八月三日の夜中の一時頃、金属音のB29が、酒田上空を照明弾で照しながら秋田油田めがけての空襲がありました。私は万一空襲があったら中学校に来るようにと武内先生に言われていましたので、学校へかけ込んだら教頭の斎藤重三先生、武内先生もおりました。武内先生から金庫を持つよう、言われ、武内先生の指導の下、金庫を防空壕の中に入れたことを今でも鮮明に覚えております。

酒田第一高等学校卒業後、中央大学商学部(昼間部)へ入学。酒田中学夜間部の諸先生の指導の下、関係各位の御協力により五年間皆勤出来ましたことを衷心より感謝致しております。

## 五五年後の回想

佐藤悦彦 (27回)



昭和二七年三月酒田東高夜間部を卒業させていた

だき神田駿河台の明治大学の門をくぐった。文学部を選び将来は故郷の中学校の教師の道を望んだ自分でありましたが、昭和三十一年三月卒業の挨拶に板橋区助役の佐藤耕作さん訪問を機会に、この板橋区で地方公務員として地方自治を学び将来は板橋区議会の仕事をしてみたらどうかとの説得を受けて故郷での教師の道は夢となつてしまつた。

当時佐藤耕作さんは故郷酒田からの多くの上京者の面倒をみておられる人格者、指導者でもありました。誰からも慕われている立派な方でありました。

多くの方々が区役所におられ、板橋区内でも多くの県人が活躍をされている環境でありました。私もこれが縁というものであろうかと区の職員を決定した次第であります。

高校時代、国語の藤井先生、数学の阿部先生、体育の市原先生は忘れ得ない立派な先生方であります。岩淵、上野両校長先生にも恵まれたことを感謝をいたしている次第であります。

時は流れ今は板橋区民五二万の選良として、福祉、環境、教育、産業の発展のために、六期目の任務を果させていただいていることに感謝をしている次第です。天命を大切にしながら一層頑張つて参る決意。遙か鳥海山、最上川を偲びながら。

エレクトロニクス部品総合商社  
株式会社 栄電子

代表取締役  
長 染谷英雄  
(昭和三五年卒業)

〒一〇一・〇〇二  
東京都千代田区神田六丁目五番二号  
電話 〇三三三八三六六八〇(代)  
FAX 〇三三二八二六六三五〇(代)

世の中の根柢が揺れてきましたが、三十年間の国会を離れ、私が政治人生を如何に完結させるかに思いを巡らせている次第です。何とぞご叱声をお願いいたします。

前衆議院議員

阿部昭吾

酒田事務所 酒田市本町一丁目  
電話 〇三三四(二)三〇四一  
東京事務所 新宿区信濃町三番地  
電話 〇三三四(三)五五二〇三  
白 宅 酒田市東大町一丁目一六  
電話 〇三三四(二)七〇一六

G&N  
企画・建築・設計

代表 丸藤 晋  
(四六回卒)

〒九九八・〇八四三  
山形県酒田市千石町一七二一八  
TEL&FAX  
〇三三四(三)二八〇〇

桜井耳鼻咽喉科

櫻井 淳  
(五三回卒)

〒一五・〇〇四一  
東京都葛飾区東金町一四一三  
第五ウイングビル三階  
電話 〇三(五六九九)四二三三

出演三七八回のサンチヨ

佐藤 輝 (39回)



大役サンチヨで九五年以来出演している松本幸四郎

主演ミュージカル『ラ・マンチャの男』は七月三十一日～八月三日、帝国劇場での公演です。

幸四郎さん自身による初演出、次女松たか子のアルドンサ役という話題に加え、八月一日には幸四郎主演一〇〇〇回の大記録と六〇歳の誕生日が重なる、演劇史上に残る記念すべき日を迎えます。

千秋楽で出演三七八回となるサンチヨは幸四郎さんのドン・キホーテとコンビの息が更にピッタリで、松さんとの二人の場面も場内大爆笑。旦那想いのキエートな演技が好評です。台本、音楽の良さに加え、舞台表現のエキスを集めたミュージカルのベスト・ワンとも言われるこの作品に出演出来ることは幸せです。

私が撮影した写真が多数公演プログラムを飾り「サンチヨの『ドン・キホーテ』ガイド」が掲載されています。ご観劇の折には是非「ご一読下さい」。

チケットのお問い合わせは、〇三三三六四九一八七五四てる通信へ。

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| <p>昭和二八年卒<br/>酒田東・西高校</p> <p>酒東二八会</p> <p>会長 伊藤俊治</p> <p>酒田市緑ヶ丘一〇九一三<br/>〇三三四一三二一〇六三</p>   | <p>昭和二八年卒<br/>酒田東・西高校</p> <p>東京二八会</p> <p>会長 金山義雄</p> <p>事務局 松戸市小金原七十一一<br/>五十嵐 昌士<br/>〇四七三三四五十四〇八四</p> | <p>昭和二九年卒<br/>酒田東・西高校</p> <p>東京ふくの会</p> <p>連絡先 本間英生<br/>自宅 〇四八〇(三三)四〇三七</p> | <p>昭和三三年卒<br/>酒田東高校</p> <p>東京32会</p> <p>連絡先 広瀬 武</p> <p>千二二六、〇〇二一<br/>横浜市緑区北八潮町一九三八一三七<br/>電話 〇四五(九三三)七二八九</p>                              |
| <p>昭和三三年卒<br/>酒田東高校</p> <p>東京燦燦会</p> <p>連絡先 阿部高記</p> <p>千一七六、〇〇〇二<br/>練馬区桜台二一四四一四<br/>TEL FAX<br/>〇三三九四八一三三九〇<br/>Eメール naoki-@blue.ocn.ne.jp</p> | <p>昭和三四年卒<br/>酒田東高校</p> <p>東京三四会</p> <p>有志一同</p>  | <p>昭和三五年卒<br/>酒田東高校</p> <p>東京珊瑚の会</p> <p>有志一同</p>                           | <p>昭和三九年卒<br/>酒田東高校</p> <p>酒東39会</p> <p>連絡先 幅屋 仁</p> <p>TEL/FAX<br/>〇三三三七五〇一五三三三三<br/>Eメール jinhay@cbss-net.ne.jp</p>                        |
| <p>昭和四六年卒<br/>酒田東高校</p> <p>酒東「翼」会</p> <p>連絡先 高橋常昭</p> <p>電話 〇四二六(七五)八〇九七<br/>FAX 〇四二六(七五)八一九五</p>  | <p>昭和五三年卒<br/>酒田東高校</p> <p>東京ゴミの会</p> <p>連絡先 進藤 弘</p> <p>電話 〇三(三五九七)一九三〇<br/>FAX 〇三(三五九七)一九三四</p>       | <p>昭和五四年卒<br/>酒田東高校</p> <p>梧葉会</p> <p>連絡先 阿部浩美<br/>電話 〇三(三九三五)四七五六</p>      | <p>金子・進藤国際税務事務所</p> <p>税理士 進藤 弘</p> <p>(昭和五三年卒業)</p> <p>千一〇五、〇〇〇一<br/>東京都虎ノ門二六一四<br/>東京都虎ノ門二六二四<br/>電話 〇三(三五九七)九三〇<br/>FAX 〇三(三五九七)一九三四</p> |



## 自分の目指す、憧れを持つ

1、生年月日と出身中学は？

一九五七年(昭和三十一年) 九月一三日生まれ 酒田第一中学校卒業です。

2、高校時代の印象的な思い出は？

高校時代は、恥ずかしくて思い出しにくいことの方が多いですね。

印象的な思い出は、授業中に鳥海山が噴煙を噴き出したこと。休火山と習っていましたが、「ホントに休んでいるだけだったのか」と、驚きました。あの時は、それだけで、何事もなく、幸いでした。

その鳥海山の麓の山荘に泊まりがけで行ったのは楽しい思い出ですね。キャンプファイアと、フォークダンスなんていう本当に高校生らしいイメージが思い出していて定着されています。

中学時代とは違って、様々な地域から生徒が集まってきていることが刺激的でした。

3、芸術関係を志した理由は？

高校に入学してからは、自分自身の興味や、特質を見つめることに沸々としていました。何か、本気で夢中になれるものはないのか、と。時代的には七〇年代の後半。学園紛争などの熱き時代の後で、なにかホンワリとした空気がただよっていました。そんな中で、熱く、集中できる何かが無いのか？と悩み続けました。そして、自分が

## メールで訪問

好きなこと、得意なこと、を見つめた結果、【美術】が残ったわけですね。

会社に勤めるようなことではないし「どうやって生活するんだ」という、当然の反対が身内などからありましたが、少しずつ結果を出しつつ納得してもらいました。

今となれば、こんな仕事であるために休日も、朝も、夜も、時間のきりがありません。自身で時間の使い方をコントロールできることと、しなければいけないこと、その自由さと、責任の重圧を背負いながら生きています。

4、現在の仕事は？

現在は、様々なメディアを扱う美術家です。各地の美術館や、野外で活動しています。同時に、東京芸術大学先端芸術表現科の助教授をしています。この学科は、旧来の絵画や、彫刻、デザイン、建築、などといったジャンルに収まらない、新たな芸術表現活動を研究、教育していくところです。

5、制作されている作品内容(プロジェクト)は？

大学では彫刻を専攻しました。卒業してから、しばらく彫刻家としての活動をしたのちに、写真表現によって、より自由に制作することを試みました。つまり、制作の舞台を、アトリエから街の中へ、自然の中へとシフトしていったのです。長時間露光によって、風景の中に自身が動いた軌跡としての光が表されたものです。



最近では、平行して、学生達と一緒に多くの他者と関わっていくようなプロジェクトを行っています。Wandering Camera Projectと名付けた、巨大なカメラを制作して自動車で牽引しながら全国を旅し、多くの人にそこに写る映像を体験してもらうワークショップを開催しています。普及活動を行いながら、さらにそのカメラを使い、巨大な写真を撮影して作品としています。

6、学生に対してのアドヴァイス

何かとにかく【自分の目指すもの】、を見つけて欲しいですね。憧れを持つことで、もちろん、年齢とともにそれは変化していくのでしょうか、目標をつくることは大切だと思います。それに向かっていくことで、集中力を発揮できます。挫折もあるかもしれないけれども、それは人間を強くするし、自分なりの生き方を見つけるきっかけになります。

私自身、未だに後ろを振り返る状態ではなく、明日から何をすべきかを毎日考えています。多分、ずっと、ワンダリングしながら生きていくのでしょうか。

# 東京亀城会々報 創刊の思い出

池田教一郎 (29回)

記憶なんて当てにならないものだ。東京亀城会々報の編集者から、会報創刊のいきさつについて書くように頼まれたので、手許に創刊号があるはずだと思

い探したが見当たらない。二度も酒田へUターンしているのに何かに入れてそのままになっているらしい。全部知ってるつもりで執筆を軽く引き受けたものの、ページ数、発行部数、広告料、収益金や肝心の内容までもすっかり忘れてしまった。何しろ二

年前(昭和五六年)の古い話なので、できるだけ思い出しながら書く。事実に少し勘違いがあるかも知れないが勘弁してもらいたい。

## ◎ 苦しい事務局の台所

当時の東京亀城会の総会出席者が数十名の規模で、若い人などはほとんど来なかった。収入も総会の会費だけに頼っており実入りも少なかったため、事

務局の台所はいつも苦しかった。慶弔費などは一部を会長のポケット・マネーに頼っているありさまで、歴代の会長に迷惑をかけていた。

昭和五六年春の役員会で、こうした運営方法を改め、財政状態を楽にし、総会にもっと大勢の会員、とくに若い人を集め、会員同士の交流をもっと盛んにするのにはどうしたら良いかというところが話題になった。いろいろな意見が出たが、その中に東京亀城会の会報を発刊したらどうかという意見があった。

だが、会報の発行には長老の人達の大方は反対だった。誰が記事を書くのか、誰が広告を集めるのか、赤字になったらどうするのか、酒田の亀城会本部でも会報は出していないなどが反対の主な理由だった。

## ◎ 財政の健全化などが目的

会報発刊の言いだしっぺが誰だったかは忘れたが、私が強く主張し説得したことは覚えてい

明徴出版有限公司  
代表取締役  
**加藤茂藏**  
(昭和十八年卒業)

〒九九八・〇〇四六  
山形県酒田市一番町十二番六号  
電話 九〇三三四・二二・三二一八  
自宅 電話 九〇三八五  
山形県鶴岡市八幡町観音寺町四七  
電話 〇三三四・六四四・三四九七

宍 た つ み や

事務取締役 **熱海壽美**  
(昭和十八年卒業)

酒田市中町二丁目一五・一七  
電話 〇三三四・二四一八七六八

英語教室  
あるびおん主宰

**岩谷純子**  
(32回)

〒三三六・〇〇五  
埼玉県浦和市太田一丁目一十六  
電話 〇四八八八・一三三二  
FAX 〇四八八八・四九五二

◎東京亀城会のご盛会を祈ります。  
浄土宗浄徳寺住職

浄徳寺住持  
酒田市教育委員 **長澤俊樹**  
(昭和十九年卒業)

〒九九八・〇〇三三  
酒田中央東四六  
電話 〇三三四・一七三二  
FAX 〇三三四・一七三二

医療法人・社団 徳信会  
弥生台歯科医院

理事長 **高橋信人**  
(昭和四十二年卒業)

〒四五五・〇〇〇八  
横浜市西区弥生台十三丁目四  
電話 〇四五八・四九八二

元木徹法律事務所

弁護士 **元木徹**  
(昭和四十二年卒業)

〒一〇四・〇〇六六  
東京都中央区銀座一丁目一八  
電話 〇三三三・七九八二  
FAX 〇三三三・五五五四

板橋区議会議員  
自由民主党板橋支部総務会長  
淑徳学園評議員

**佐藤悦彦**

自宅 板橋区成増四丁目二十八番五  
電話 〇三三三・〇三七一

医療法人社団廣生会 真坂歯科医院

理事長 **真坂信夫**  
(昭和三十三年卒業)

〒一〇八・〇〇三三  
東京都世田谷区奥町五丁目六番九号  
自由ヶ丘栄七ビル跡 自由ヶ丘駅前白鳥  
電話 〇三三三・七九八四七〇  
FAX 〇三三三・八八一九〇九

遠藤登記測量総合事務所

所長 **遠藤功**  
(昭和四十四年卒業)

〒一九〇・〇〇三二  
京都市東区丁白一丁目一番五  
FAX 〇四二五・九一八四四

高橋企画・編集事務所

代表 **高橋常昭**  
(四六回卒)

〒一九二・〇三六四  
八王子市海大沢五丁目九番四〇六  
FAX 〇四二六・七五八・九五

総合建設業  
株式会社 加藤組

常務取締役 **加藤淳**  
(五三回卒)

〒九九八・〇〇三三  
山形県酒田中央東町四一五七  
電話 〇三三四・二四〇三

JMDインターナショナル

代表 **工藤久美**  
(五三回卒)

〒一〇八・〇〇三三  
東京都世田谷区三軒五丁目七番九号  
電話 〇三三三・四三三二  
FAX 〇三三三・四三三二  
E-mail: koudon@jmd.co.jp  
http://www.jmd.co.jp

によって、総会に出ない会員からも年会費をとれること、何よりも東京亀城会の財政状態を健全にでき、運営が楽になるなど一石三鳥ぐらゐの効果があることなど力説した。

はじめは会報の発行に反対意見が多かったが、事務局長の阿部鏐一さん(22回)をはじめ、村上義八郎さん(24回)、土田嘉彦さん(28回)や佐藤順陽さん(29回)らが強く後押ししてくれたので、次第に賛成者も増え、最後には役員会も了承し、この年から会報を発行することになった。

### ◎新聞スタイルで創刊

会報の発行がきまると、東京亀城会の事務局があった南青山の阿部さんの事務所にも、勤め先を終えてから連日夜遅くまで関係者が集まり、かんかんがくがくと内容について大いに議論した。会報の体裁はタブロイド判の新聞スタイルにすることや「東京亀城会々報」の題字は日経新聞OBの佐藤甚蔵氏(1回)に揮毫の依頼をすることなどもきめた。

編集長には放送作家の阿部さん、編集は主婦と生活社にいる土田さんと元産経新聞記者で坊さんの佐藤(順)さんにきまり、広告の担当は広告会社に勤務していたので私にきまった。広告

担当になるのは内心大変だと思つたが、事のいきがかり上引き受けざるを得なかった。

商売上新聞広告についてはある程度は知っていたが、この新しい広告の割り付けや広告料の設定にはいささか苦勞した。広告のスペースは、当時発行されていた『サンケイ・リビング』や『ジョッパー』などの無料紙がタブロイド判だったのでその広告を参考にした。

### ◎会員に広告出稿を必死に依頼

顔の広い阿部さんの力強い協力を得て亀城会の会員名簿を見ながら、やたらに会員の方々に電話を掛けまくり広告の出稿を依頼した。広告が集まらなければ会報は作れないし、責任が自分にかかってくると思ひ恥も外聞もなく必死だった。

はじめのことでどうなるか心配したが、阿部さんはじめ関係者みんなが協力してくれたお蔭で予定通りの広告も集まり、無事会報を発行することができ安堵の胸をなでおろした。

記事の内容では、佐藤さんの司会で一回生を中心にした先輩を集め、酒中時代の思い出(タイトルは忘れてしまった)という座談会を企画した。座談会の場所だけは不思議に覚えている。佐藤さんの弟さんが経営していた『鉄兵』という根津の炉端焼

屋だった。

会報の印刷は佐藤さんの紹介で、本郷四丁目で佛教新聞を発行していた中外日報社の東京本社だった。社長の本間昭之助氏は酒田商業の出身であった。社員に鳥海俊士先生の甥ごさんがいて会報の面倒をよくみてくれた。

### ◎会報収益金の一部を総会に拠出

創刊号の制作は関係者のみんなが手弁当で協力し、阿部さんの事務所や印刷所で遅くまで校正などで苦勞はしたが、それなりに結構楽しかった。

昭和五六年の東京亀城会の総会には、会報収益金の一部を拠出して会費を安くすることができたので、例年より出席者が多く盛会だった。

この年の暮、元日本経済新聞記者の大谷良雄さん(23回)に協力して酒田でコミュニティ新聞を発行するのでUターンしたが、阿部さんに「敵前逃亡ではないか。せっかく頼りにしていたのに、来年から広告は誰がやるんだ。無責任だ」と叱られた。

二年後に東京に戻り、また何年間か東京亀城会の会報作りのお手伝いをしたが、今はなつかしい思い出となっている。

現在の東京亀城会々報は、創刊号にくらべて格段に立派になり、内容も充実しており、また

株式会社 菅原工務所

菅原 靖

(昭和四十六年卒業)

〒九九八〇八五六  
山形県東根市四丁目四十四番三  
FAX 〇三三四一三三三  
電話 〇三三四一三三三

パブ&ランチ  
浪漫亭・わかば

脇屋 直紀

(五三回卒業)

〒九九八〇〇四四  
山形県酒田市幸町一丁目六十四番一  
電話 〇三三四一四一八〇

総会も年々盛んになってきているようでも(ことに)同慶の至りである。月日が経つのも早いもので、今年で東京亀城会々報も二二年目になり二二号を数えるが、創刊号作りに係った一人として感慨無量である。会報関係者のご努力に敬意を表すると共に東京亀城会のさらなるご発展を祈念して拙稿を終わる。

### 東京亀城会会報第二二号

◎発行 二〇〇二年六月二五日

◎発行者 上林 茂

◎編集人 岩谷純子

◎編集 高橋常昭

◎発行所 東京亀城会

東京都中央区銀座一―一八―六

共同ビル銀座五階

元木徹法律事務所内

◎問合せ 高橋企画・編集事務所

☎〇四二六・七五・八〇九七

☎〇四二六・七五・八一九五

# 東京亀城会会則

## 第一章 総則

### (名称)

第一条 本会は、東京亀城会と称する。

### (事務所)

第二条 本会は、事務所を東京都に置く。

### (目的)

第三条 本会は、会員相互の親睦を図ると共に、母校・酒田東高等学校及び亀城同窓会との連携を密にし、同校の発展に寄与することを目的とする。

### (事業)

第四条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

一、総会、懇親会等の開催

二、母校との連携、後援

三、亀城同窓会及び各地の亀城会との

連携

四、会員名簿の作成

五、会報の発行

六、講演会等各種行事の開催

七、その他本会の目的を達成するために必要な事業

## 第二章 会員

### (会員)

第五条 ①本会は、山形県立(旧制)酒田中学校、酒田第一高等学校、酒田高等学校若しくは酒田東高等学校に在学した者又は同校の教職員であった者で、関東地方一円に居住する者をもって会員とする。

②本会の会員は年会費を支払うものとする。

## 第三章 役員等

### (種類)

第六条 ①本会に、次の役員を置く。

一、会長 一名

二、副会長 五名以内

三、理事 各卒業年次二名以内

四、会務執行理事 若干名

五、監事 二名

②本会に、顧問、相談役等の役職を設けることができる。

### (選任)

第七条 ①会長、副会長及び監事は、会員の中から、理事会の推薦により、総会において選任する。

②理事は、各卒業年次の会員が行う推薦により、会長が委嘱する。

③会務執行理事は、理事の中から会長が委嘱する。

④顧問は、理事会及び総会の推薦により、会長経験者をもって充てる。

⑤相談役は、理事会及び総会の推薦により、副会長経験者又は本会に功労のあった会員を持って充てる。

第八条 ①会長は、本会を代表し、会務を総理する。

②副会長は、会長を補佐し、会長に事故等があるときは、会長があらかじめ指名

した順序によって、その職務を代行する。

③理事は、理事会を構成し、この会則に定める事項を審議する。

④会務執行理事は、会務執行理事会を構成し、この会則に定める事項を執行する。

⑤監事は、会計を監査するほか、理事会及び会務執行理事会に出席して、意見を述べることができる。

⑥顧問及び相談役は、会務に関し、会長の諮問に応ずる。

第九条 役員任期は、二年とする。ただし、再任を妨げない。

第四章 会議

第十条 本会の会議は、総会、理事会及び会務執行理事会とする。

(総会)

第十一条 ①総会は、会員をもって構成し、毎年一回開催し、会長が招集する。

②次の事項は、総会において議決する。

一、会長、副会長及び監事の選出

二、事業計画及び予算

三、事業報告及び決算

四、年会費の額の設定及び改訂

五、その他本会の運営に関する重要な事項

③総会の議事は、出席者の過半数をもって議決する。

(理事会)

③総会の議事は、出席者の過半数をもって議決する。

(理事会)

第十二条 ①理事会は、会長、副会長及び理事をもって構成し、毎年一回以上開催し、会長が招集する。

②理事会は、次の事項を審議し、決定する。

一、総会に付議すべき事項

二、本会の重要な会務の執行に関する事項

③理事会の議事は出席者の過半数をもって決定する。

(会務執行理事会)

第十三条 ①会務執行理事会は、会長、副会長及び会務執行理事をもって構成し、必要の都度、会長が招集する。

②会務執行理事会は、次の事項を策定し、会務執行理事は、共同して又は分担して執行する。

一、総会又は理事会に付議すべき事項の立案

二、総会又は理事会の議決した事項の具体的執行方針

三、その他本会の会務の具体的執行方針

③会務執行理事会は、会務の執行のため、委員会を設けることができる。

(経費)

第十四条 本会の経費は、年会費、広告費、寄付金その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第十五条 本会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年の三月三十一日に終る。

(暫定予算)

第十六条 当該年度の予算が成立してい

ないときは、会長は、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出する事ができる。

第五章 会則の変更

(会則の変更)

第十七条 この会則は、理事会の議を経て、総会において出席者の過半数の議決をもって変更することができる。

第六章 事務局

(事務局)

第十八条 ①本会に、その事務を処理するため、事務局を置く。

②事務局は、当分の間、会務執行理事およびその他の会員をもって構成する。

(帳簿等)

第十九条 事務局には、会則、会員及び役員名簿、会計帳簿、会務記録等の帳簿及び書類を備えるものとする。

第七章 補則

(会則に定めなき事項)

第二十条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に必要なものは、理事会において決定する。

附則 (昭和四三年七月一日施行)

附則 (昭和五〇年・五二年・五九年・六一年改正)

附則 (平成八年十一月一日改正)

改正後の会則は、改正の議決の日から施行する。

郷土料理

おばこ

大内

(酒田市出身) 瞳

中央区銀座二丁目四一〇 (大内ビル)  
☎〇三―三五六一―六四六六

鳥海

Chokai

都心で庄内の味を  
味わってみませんか!

20名前後のクラス会などに  
ご利用ください。

港区新橋2-2-4 パイオニアビル2・B1

☎03-3502-9050

佐藤 猛 (47回卒)

BIPOS バイボス

美しさを情報伝えます!  
コストダウンでサポート

汎用機・WS・PC・WPのデータを自在に  
編集・加工  
オンデマンドシステムで対応  
情報処理のビジュアル化をフルサポート  
最短の時間と最小のコストをお約束

印刷の  
職なら

株式会社 文栄社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-14-111  
☎(03)3662-1951 FAX(03)3661-9735  
http://www.bbe.ne.jp E-mail:bunei@bbe.ne.jp

●事務局からのお知らせ

○一九九九年文化庁国際芸術文化事業としてニューヨークで公演され、大賛辞に包まれた木山潔(36回)氏製作によるミュージカル「はだしのゲン」が七年連続の公演になり、今年は全国六〇カ所の公演がスタートしています。

平成一四年度の文化庁支援事業、二〇〇二年日韓国民交流年記念事業として、ソウルでも五回開催予定ですが、東京地区は、六本木の俳優座劇場で、八月一四・一五日に開催されます。

また、一一月五(一〇)日には、池袋の東京芸術劇場で夏目漱石と正岡子規の交流を描いた「人間万事漱石の自転車」も開催予定です。



チケットをご希望の方は、木山事務所(〇三・五九五八・〇八五五)までお申し込み下さい。

○訃報

スズキシン一氏

(本名・鈴木慎一27回)、平成一三年八月一二日、ご逝去

日大芸術学部を卒業後、女優のマリリン・モンローの死に直面したスズキ氏は、その死が大きな衝撃となり、モンローを描くようになります。繰り返しモンローを描くうちに、無数のマリリン・モンローを和紙に描く「マリリン曼

陀羅」に取り組み始め、平成七年には五〇万體による曼陀羅を完成させ、大きな反響を呼びました。その連作として近年は、百万體の「マリリン曼陀羅」に挑んでおり、マリリンは九七八〇〇〇〇體に達していました。

○今年の会報と総会・懇親会の案内は、約三二〇〇名の方々に差し上げましたが、住所変更などがございましたら、事務局かメールアドレスにご一報いただければと思います。

また、年会費に関して東京亀城会と亀城会同窓会(酒田)との間で結論が出ておりませんので、昨年度同様に東京亀城会に年会費を納入していただきますようお願いいたします。

懇親会で津軽三味線を演奏する岡田修さん



1957 山形県酒田市に生まれる  
1984 津軽三味線全国大会特別賞受賞  
1985 津軽三味線全国大会優勝

・演奏予定曲

- 1、津軽じよんから曲合せ
- 2、津軽じよんから節
- 3、津軽音頭
- 4、空へ
- 5、彷徨(さすらい)〜最上川下れば

EPSON

時と情報を核に、  
快適生活を支援する



東北エプソン株式会社

〒998-0194 山形県酒田市十里塚 166-3  
TEL(0234)31-3131

ふるさとの銀行

つながります、  
人・夢・情報。



庄内銀行 東京支店

TEL.03-3256-8911

地上の繁栄は、  
地下で支える



コンクリート製品メーカー  
前田製管株式会社

暮らしの中に、マエダがあります

- 本社  
山形県酒田市上本町6-7 〒998-8611  
Tel.0234-23-5111 Fax.0234-24-7002
- 東京統括支店  
東京都江東区東陽3-23-21 〒135-0016  
Tel.03-3649-7021 Fax.03-3649-7681